九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

[023]九州大学医学図書館ニュース

https://hdl.handle.net/2324/1955715

出版情報：医学図書館ニュース. 23, pp.1-, 1990-09. Medical Library, Kyushu University
バージョン：
権利関係：

図書館

九州大学医学図書館

No. 23　　1990年9月

目　次

1．情報検索とニューメディア……朝倉　一……1
2．九州地区医学図書館員セミナーに参加して……高田宏昭……3
3．大学図書館員長期研修に参加して……三浦　誠……4
4．医学図書館員研究集会に参加して……穴見一博……7
5．図書館利用統計……8
6．新着図書案内……11
7．平成2年度医学図書館の主な行事（前期）……19
8．お知らせ……20

情報検索とニュー・メディア

朝倉　一

わが国でＪＩＣＳＴ（日本科学技術情報センター）を初めとしてオンライン・サービスが始まって10数年、その後の情報産業は加速的に進歩をとげた。現在ではニュー・メディアと称される情報媒体もあらゆる分野で、また、様々な形態で

出版されている。特にＣＤ－ＲＯＭはニュー・メディアの中にあっても象徴的な存在である。このような現象は研究者をはじめとして我々庶民にとっても、非常に便利な世の中を造り上げてきた。このため学術的な情報、旅行そして買物情報など研究者は研究室に居ながら、人々は家庭に居ながら必要最低限の情報は確実に入手できるようになった。さらに、多少奮発してＯ．Ａ．機器を設備するとそこはもはや研究室でもなく家庭でもなく小さな情報センターである。

しかしながら、情報は生き物であるから扱い方が悪いと大変な事態を引き起こす。利用する場合には絶えず目的と目標を明確にしておかねばならない。例え、部屋に居ながらにして情報を入手することができても、所詮限られた情報でしかない。特に研究者が研究を始めるにあたって、予備調査のための情報の収集は図書館または情報センター等で行うのが必須の行動であり最適と考えれる。最近では学際分野においてもＣＤ－ＲＯＭがあたかも情報収集の主流のように宣伝され、導入され宗教的にその広がりを見せている。決して、このシステムを否定するのではなくむしろ歓迎する者であるが、これが主流と云う考え方は情報提供者の立場にある者にとってはあまりにも寂しい知識の範囲である。私はオンライン・サービスが始まった当時のことを時折思い出す。検索ミスで冷汗を流した経験は片手では数えきれない。現在でさえ私は日常業務の中において、情報処理と情報提供ミスをいまだに憂慮している。情報検索ミスの責任は誰がとるのであろうか。知識もない経験もない館員が、ただ単に上司の命令と云うことだけでいとも簡単に検索業務を行っている姿を見るにつけても昔の自分を思い出し冷水を浴びせられた感じがする。

ともかく、これらメディアの利用にあっては前にも述べたが目的を明確にすること、加えるに知識こそこれらを使いこなす最大の武器ではなかろうか。それにしても日常使用している医学関連分野 Index Medicus の Thesaurus であるＭｅＳＨ（Medical Subject Headings）のキー・ワード約15,000語を修得するにはあまりにも多すぎる数である。

（図書館専門員）

第2回九州地区医学図書館員セミナーに参加して

高　田　宏　昭

期　間：平成2年7月19日（木）～20日（金）

場　所：長崎大学附属図書館医学分館　視聴覚室

参加者：佐賀医科大学・大分医科大学・長崎大学・福岡歯科大学・産業医科大学・九州大学・福岡大学・久留米大学・熊本大学・からオブザーバを含め11名参加した。

日　程：7月19日

1．講演　「西洋医学と長崎」

講師．中西　啓　出口病院副院長（日本医史学会員）

2．参加者発表及び質疑応答

3．英会話教室

講師．Hormozd Mehrrostami氏（ＳＣＬ英会話学校）

7月20日

1．参加者発表及び質疑応答

2．講演「これからの医学図書館員」

講師．朝倉　一（九州大学医学図書館専門員）

3．総括講評・閉会挨拶

このセミナーの目的は時代に即応すべく館員の資質向上を計るため、九州地区医学図書館協議会主催で開かれたものである。

今回のセミナーの特徴は、医学図書館員とは何か－その特徴と役割－を中心テーマにしたことであった。

これは、医学図書館をとりまく厳しい情勢の中で、「医学図書館員」とは何なのか、その特徴、果たすべき役割、日常業務、館員養成等をあらためて討議し、今後、各自の業務遂行のなかに生かしていこうということである。

そこで、各自の業務の中での問題点等を将来的展望をも含めて提供し、これにコンピュータ等をどのように応用していくかという問題があった。

今回、私は「学外文献複写依頼館の選択と現状について」という相互貸借関係

のことについて発表した。身近な業務のためか質疑応答の時に質問が集中し、自分の経験、勉強不足のため返答に困った。

又、初日の午後は英会話教室が開かれたが、中学・高校の授業とは違い、数のかぞえ方や、道を尋ねられたときの対応等、かなり実践的な内容であった。今後、さらに国際化が進み外国人留学生の図書館利用が増えていくだろうといわれているだけに、この様な英会話をとりいれた授業は大変有意義であった。2日目は朝倉専門員が「これからの医学図書館員」という題で講演をされた。ここでは、医学という学問の重要性をとかれ研究者を生かすも殺すも図書館員の資質次第だということ、その自覚をもって日常業務に携わるよう講演された。

最後に、2日間という短い期間ではあったが、色々な面で勉強になった。また、今後もこのようなセミナー等があれば積極的に参加し勉強していきたい。

（参考調査掛）

平成2年度大学図書館職員長期研修に参加して

三　浦　　誠

期　間：1990年7月16日－8月3日

場　所：図書館情報大学（茨城県つくば市）、東京

講義内容を、省略し下記の理由で医学図書館との関係で感想を述べたいと思う。

医学図書館界では、図書館が生き残るためにはなにをなすべきかと言われて久しい。

このことは、この情報化社会で医学図書館は、利用者が必要とする資料をいかに早く、確実に提供するか。また、サービスをいかに拡大するかであろう。

このような医学図書館の状況を踏まえ、各講義、各見学に刺激と驚きを受け取ることができるかという目的を持って出発した。

利用者が必要とする資料は何かを学術情報センターにおける学術情報のとらえ方を参考にしながら考えてみた。

利用者が必要とする資料はゼロ次情報から三次情報まである。

ゼロ次情報

学情センター：数値・画像情報・研究者のデータ・ベース（一時的なデーター・観測、実験データー・文書・日記）等。

病院地区に於ける主なゼロ次情報は、カルテであろう。

患者の病状、治療指針および記録のカルテはこれらの情報を、電算機に蓄積し必要に応じて提供しているのが、医療情報部である。

必要な情報を将来は研究者に、より早く提供するためゼロ次情報と図書館情報とを有機的に結合しなければならないだろう。

一次情報

学情センター：一次情報の収集提供の最適化への間接的貢献、全文データベース指向。

図書館が、研究者、学生、医者に、提供する主なものがこの一次情報である。これは、冊子体から、ＣＤ－ＲＯＭによるものも出版されつつある。今後、利用の多様化を考慮に入れてＣＤ－ＲＯＭ導入を検討することも必要だろう。

しかしこの中で問題になっている所在不明というグレイ・リタラチャーの解決を考えなければならない。このため当該機関の所属研究者が創出した論文を所属図書館で加工蓄積することにより、グレイリタラチャーの減少を図り研究者の要求を充すよう努力すべきであろる。１例として国文学研究資料館は、独自情報作成とＣＤ－ＲＯＭ提供を行おうとしていた。

二次情報

学情センター：目録所在情報サービスの提供、情報検索サービスの提供、プレプリントと研究会。

所在情報サービス

一次情報の提供は、予算、スペースに問題があり一つの図書館では不可能である。この理由と相互協力を目的とした各種の所在目録が作成されてきた。現在では、電算機を利用して所在情報を確認出来るようになった。しかし次の２点が現在問題である。

１：業務の合理化が、行われているのか。

カードレス化、書誌取り込みがうまくできているか。

2：利用者にいつでも、どこでも提供できているか。

オンライン検索が、可能か。

情報検索サービス

図書館の二次資料は、冊子体・機械検索の二種類であった。しかしＣＤ－ＲＯＭ出版により、利用者が冊子体のように自分で検索する機会が冊子体以上に増加すると推察される。図書館は、必要なＣＤ－ＲＯＭを提供しなければならないだろう。これに伴ってＣＤ－ＲＯＭの利用教育等の指導が必要になるだろう。しかし、最も早く情報を入手できるオンライン検索は、今後継続すべきである。

三次情報

学情センター：ディレクトリ・データベース、レビュー文献。

この様なディレクトリ・データベースを検索することにより最新の情報を入手できるだろう。

将来へのために

第一：業務の合理化を行わなければならない。

第二：サービスの拡大

- 各種でてくる機器の取扱説明。
- 各種二次資料の検索方法。
- 個人ファイル作成のための援助。
- 独自情報の作成。

医学図書館の将来

利用者が必要とする情報を学内ＬＡＮ（Local Area Network）や電子メール等を使用することにより、よりよいサービスが可能となるだろう。図書館は、一次情報から三次情報の提供を行う。一次情報や二次情報の変化は、紙出力から光ディスクに保存し必要な時に電子情報のままで検索、スクリーン上で閲覧する。

このため利用者の要求に答えられるよう情報を蓄積し、特に二次情報については、学内ＬＡＮを通してサービスを行う。また、質問・申込等は、利用者からの電子メールを通して処理を行う。

このようなサービスの拡大を図るには、業務の合理化を行なうことが先決であると確信する。　（参考調査掛）

第25回医学図書館員研究集会に参加して

穴　見　一　博

今回の研究集会は、「医学図書館とニューメディア－21世紀を展望する－」として、10年後にせまった21世紀へ向けての図書館をテーマに、全国から36名（男性８名、女性28名）の参加を得て開催された。日程、及び主な集会内容は下記の通りである。

記

（日　　程）

会　期：８月22日（水）～８月24日（金）

会　場：コミュニティ嵯峨野（京都）

当番館：京都大学医学図書館

（集会内容）

１．講　演

ＪＭＬＡの組織と活動（仲野　治二　氏：大阪歯科大学図書館）

Medical Librarianship（朝倉　　一　氏：九州大学医学図書館）

小児期からの成人病対策（衣笠　昭彦　氏：京都府立医科大学

医学情報とニューメディア（櫻井恒太郎　氏：東京大学附属病院）

２．グループ討議

テーマ：医学図書館とニューメディア

３．パネルディスカッション：医学図書館とニューメディアについて

４．グループ討議（業務別：整理、雑誌受入、参考、閲覧、相互貸借）

今年の研究集会では、掲げられたテーマでも明らかなようにニューメディア中心、それも全国の大学図書館で導入が増加しているＣＤ－ＲＯＭに関する事柄が多く取り上げられた。医学図書館で業務する私達にとっても、ＣＤ－ＲＯＭをはじめニューメディアと称されるものを的確に応用していく必要に直面している。病院をサービ

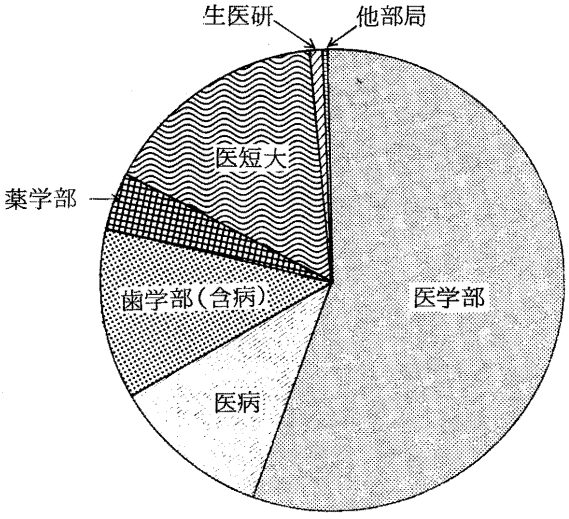
スの対象とする医学図書館員の使命はなおさら重要であり、今後さらに、より迅速で確実な情報提供が求められている。この事に関連して、業務別グループ討議ではどの業務分野においても、ニューメディアの利用を念頭においていかに迅速に情報を、エンドユーザーに提供できるかが論議された。医学図書館にきて約5ケ月が経過してますます図書館員としての意識の向上と、知識の蓄積が必要と痛感した研究集会であった。

最後に、8月の暑い3日間、お世話していただきました当番館の京都大学医学図書館と実行委員長並びに、実行委員の皆様に厚くお礼を申し上げます。

（受入掛）

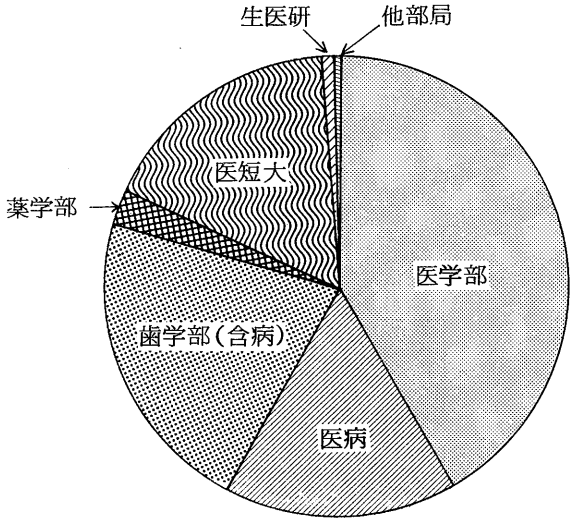
平成元年度　医学図書館利用統計

1．入館者数



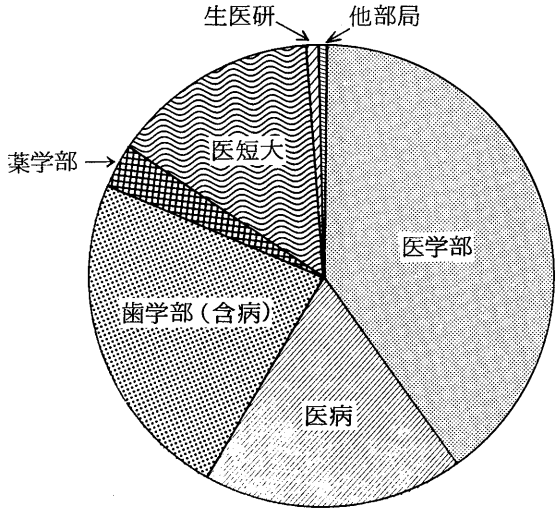
医学部	61,180（56.1%）
医病	12,038（11.0%）
歯学部（含病）	13,114（12.0%）
薬学部	4,385（ 4.0%）
医短大	16,852（15.5%）
生医研	1,133（ 1.0%）
他部局	309（ 0.4%）
合　計	109,011

2．貸出者数



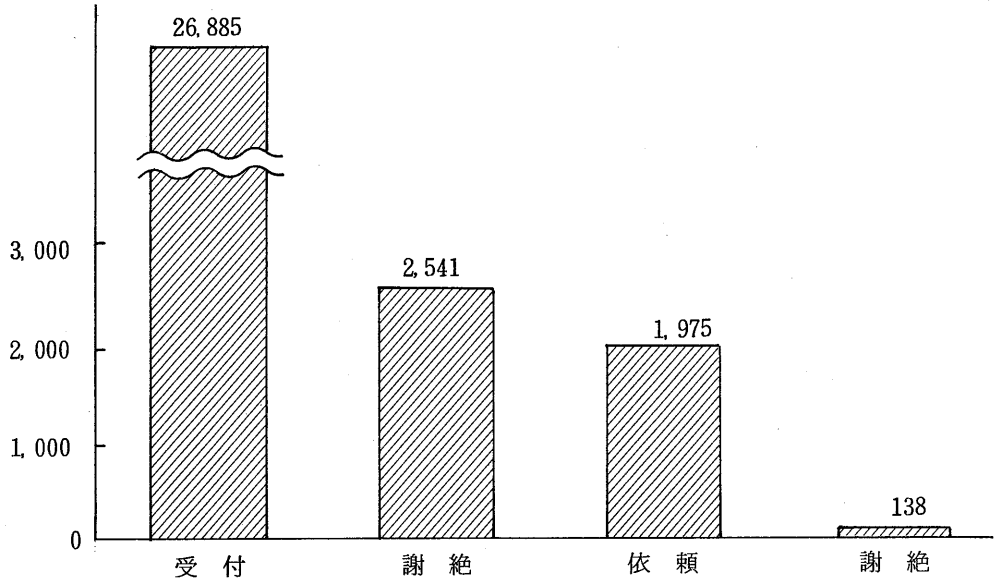
医学部	7,099（41.7%）
医病	2,759（16.2%）
歯学部（含病）	3,670（21.6%）
薬学部	416（ 2.4%）
医短大	2,819（16.6%）
生医研	145（ 0.9%）
他部局	109（ 0.6%）
合　計	17,017

3．貸出冊数

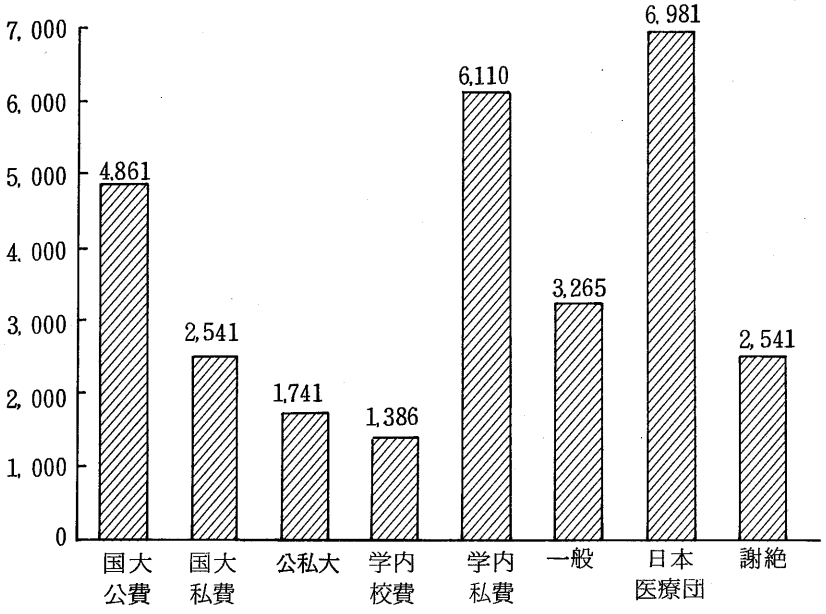


医学部	12,084（40.0%）
医病	5,467（18.1%）
歯学部（含病）	6,968（23.1%）
薬学部	889（ 2.9%）
医短大	4,325（14.3%）
生医研	257（ 0.9%）
他部局	183（ 0.7%）
合　計	30,173

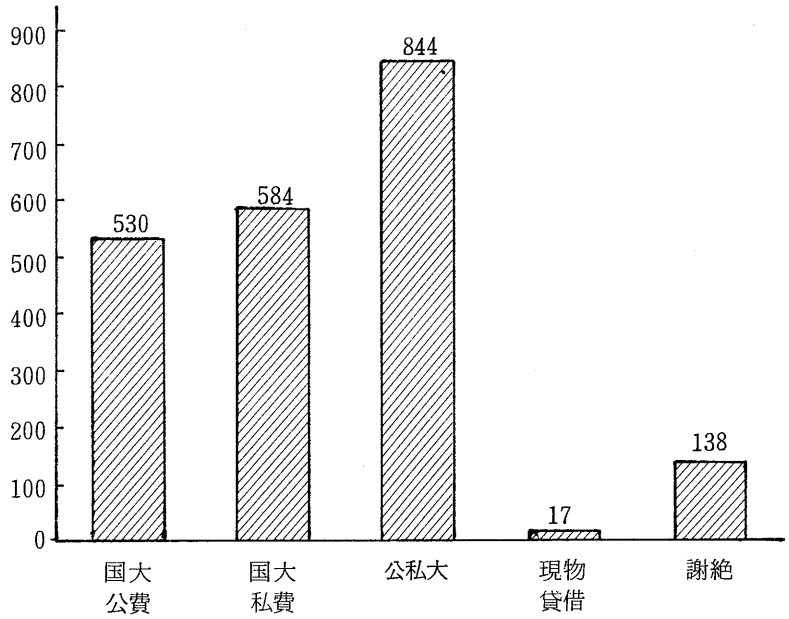
4．文献複写受付・依頼総数（件数）



5．文献複写受付件数



6．文献複写依頼件数



新着図書案内

（人体解剖学）

ＮＨＫ取材班　著	驚異の小宇宙・人体　別巻　１－２	日本放送出版協会	1989-90	ＱＳ 5
Gosling, J. A.　等著	アトラスとテキスト　人体の解剖	南江堂	1989	ＱＳ 17
寺田春水　藤田恒夫　共著	解剖実習の手びき　第８版	南山堂	1988	ＱＳ 25
山本敏行　著	基準組織学　改訂第12版	南江堂	1989	ＱＳ 504
小川和朗　等編	人体組織学　第５巻	朝倉書店	1990	ＱＳ 505
石原勝敏　編著	図説発生生物学	丸善	1989	ＱＳ 604
Sadler, Thomas W.　著	ラングマン人体発生学	医歯薬出版	1988	ＱＳ 604

（生理学）

星　猛　伊藤正男　総編集	新生理科学大系　第20巻	医学書院	1990	ＱＴ 5
中野昭一　編	図解生理学	医学書院	1989	ＱＴ 104
中山昭雄　編	温熱生理学	理工学社	1983	ＱＴ 104
東京都立大学体育学研究室　編	日本人の体力標準値　第４版	不昧堂出版	1989	ＱＴ 255
石河利寛　松井秀治　共編	スポーツ医学　改訂第６版	杏林書院	1989	ＱＴ 260

（生化学）

丸山工作　著	生化学　第12版	裳華房	1988	QU 4
井本泰治　著	タンパク質工学への招待	南江堂	1989	QU 55
内田久雄　編	核酸・蛋白質の構造情報	東京大学出版会	1989	QU 58
鹿山　光　編	総合脂質科学	恒星社厚生閣	1989	QU 85
竹田亮祐　著	ステロイド薬の使い方	永井書店	1989	QU 95
遠藤　實　等編	カルシウムイオンと細胞機能	共立出版	1990	QU 130

（薬理学）

藤原元始　等編	医科薬理学	南山堂	1988	QV 4
藤野澄子　等編	最新　薬理学	講談社	1989	QV 4
伊賀立二　奥村勝彦　共編	生物薬剤学	薬業時報社	1989	QV 21
百瀬　勉　著	定量薬品分析　－第５改稿版－	廣川書店	1988	QV 25
西崎　統　石村孝夫　共編	ナースのための薬剤ハンドブック第２版	医学書院	1988	QV 55
菊池方利　等編	治療薬マニュアル	医学書院	1990	QV 55
九州大学医学部附属病院　編	九州大学医学部附属病院医薬品集第８版	九州大学医学部附属病院	1989	QV 55
稲永和豊　田中正敏　共編	向精神薬	医歯薬出版	1988	QV 76.5
Tu, Anthony T. 著	身のまわりの毒	東京化学同人	1989	QV 600
伊賀立二　奥村勝彦　共編	生物薬剤学	薬業時報社	1989	QV 704
瀬崎　仁　木村聰城郎　共編	薬剤学	廣川書店	1989	QV 704
板谷幸一　編	医薬品情報学入門	南山堂	1989	QV 736
日本公定書協会　監修	日本薬局方　第11改正	廣川書店	1988	QV 738
日本公定書協会　監修	日本薬局方解説書　第11改正	廣川書店	1988	QV 738
日本公定書協会　監修	日本薬局方追補説書　第11改正	廣川書店	1988	QV 738
日本公定書協会　監修	日本薬局方追補　第11改正	廣川書店	1988	QV 738
関口慶二　著	日本薬局方概説　－第11改正－	南山堂	1987	QV 738
市川正孝　編	医療薬学領域の新医薬品化学	南山堂	1988	QV 744
上野芳夫　大村　智　共編	微生物薬品化学　第２版	南江堂	1986	QV 744
川原徳夫　等著	有機薬品製造化学	廣川書店	1988	QV 744
北川　勲　等著	生薬学　第３版	廣川書店	1989	QV 752
工藤毅志　編	漢方実用大事典	学習研究社	1989	QV 752
三橋　博　編	生薬学　第３版	南江堂	1989	QV 752

（微生物学および免疫学）

R. Y. スタニエ　等著	微生物学　第５版	培風館	1989	QW 4

山村雄一　編	最新免疫学　第１－２巻	同文書院	1990	ＱＷ 504
菊地浩吉　著	免疫学図譜	メディサイエンス社	1989	ＱＷ 517
（寄生虫学）				
山口富雄　著	日本における旋毛虫ならびに旋毛虫症	南江堂	1989	ＱＸ 207
（臨床病理学）				
日野原重明　河合　忠　共編著	正常値と異常値の間　前面改訂版	中外医学社	1988	ＱＹ 21
（病理学）				
飯島宗一　等編	現代病理大系　11Ａ	中山書店	1990	ＱＺ 4
西山保一　著	マクロ病理アトラス	文光堂	1986	ＱＺ 17
田中正敏　著	ストレス　そのとき脳は？	講談社	1989	ＱＺ 160
未舛恵一　等編	図書臨床癌シリーズ　no. 26	メジカルビュー社	1988	ＱＺ 200
漆崎一郎　服部　信　共編	腫瘍マーカー	医学書院	1986	ＱＺ 200
渋谷正史　等編	癌遺伝子データブック	秀潤社	1989	ＱＺ 200
（医業）				
	メディコピア　21	富士レビオ	1990	Ｗ 5
武田佳彦　等著	図説総合医療情報システムの実際　第2版	メジカルビュー社	1986	Ｗ 26.5
日本医師会生命倫理懇談会　編	「説明と同意」についての講演・質疑応答記録集	日本医師会	1990	Ｗ 50
日本医師会生命倫理懇談会　編	「説明と同意」についての報告	日本医師会	1990	Ｗ 50
日本医師会生命倫理懇談会	「説明と同意」に関するアンケート編集計結果報告書	日本医師会	1990	Ｗ 50
上里一郎　編	青少年の自殺	同朋舎出版	1988	Ｗ 864
（臨床医学）				
小濱啓次　編	救急疾患の早期診断と初期治療　改訂第2版	新興医学出版社	1982	ＷＢ 105
藤田拓男　等編	必修内科学　改訂第４版	南江堂	1990	ＷＢ 115
阿部　裕　塩川優一　共編	診療内科学	金原出版	1989	ＷＢ 115
屋形　稔　等編	チャートによる検査診断学	金原出版	1984	ＷＢ 141
河野　敦　等編著	最新ＭＲＩ情報	中外医学社	1989	ＷＢ 205
有水　昇　植松貞夫　共編	ＭＲＩ　診断マニュアル	篠原出版	1989	ＷＢ 205
遠山　博　編著	輸血学　改訂第２版	中外医学社	1989	ＷＢ 356
（伝染病）				
東京女子医科大皮膚科教室　編	コスモスの花蔭で	東京女子医科大	1990	ＷＣ 9
奥田正治　著	感染症の類似疾患	医典社	1983	ＷＣ 100
三輪谷俊夫　等編	感染症学	金芳堂	1982	ＷＣ 100
（筋・骨格系）				
Blauth,W. Schuchardt,E.　共著	膝間接手術アトラス	南江堂	1989	ＷＥ 17

J．プライン　等著	顔面頭蓋腫瘍アトラス	シュプリンガー・フェアラーク東京	1986	WE 17
天児民和　編	神中整形外科学　－総論－　第21版	南山堂	1989	WE 168
辻　陽雄　高橋栄明　共編	整形外科診断学　改訂第２版	金原出版	1988	WE 168
檜澤一夫　等編	筋病理学	文光堂	1989	WE 550
片岡治　著	腰痛の正しい知識	南江堂	1989	WE 755
河端正也　著	腰痛テキスト	南江堂	1989	WE 755
Winnie,A. P.　著	腕神経ブロック	真興交易	1988	WE 800
（呼吸器系）				
Weinberger, Steven E. 著	呼吸器病学入門	医薬ジャーナル社	1989	WF 100
於保健吉　雨宮隆太　共著	気管支ファイバースコピー　第５版	医学書院	1989	WF 141
下里幸雄　編	肺癌の生検と細胞診	医学書院	1988	WF 450
澤崎博次　編著	肺アスペルギルス症	医学書院	1988	WF 652
（心臓血管系）				
井口　潔　草場　昭　共著	図説血管外科の臨床	南山堂	1985	WG 17
小柳　仁　等著	新・心臓カテーテル法　改訂第２版	南江堂	1990	WG 200
石川恭三　編	新心臓病学　第２版	医学書院	1986	WG 200
遠藤真弘　等編	Coronary Intervention-PTCA, PTCR CABGの選択と実際－	南江堂	1989	WG 300
（血液およびリンパ系）				
ベーゲマン　ラステッター　共著	ハイルマイヤー　臨床血液学アトラス　改訂新版	シュプリンガーフェアラーク東京	1989	W 17
（胃腸系）				
中村孝司　編著	消化管機能	内外医学社	1988	WI 100
木原　彊　等編	新消化器病学　第１－２巻	医学書院	1987	WI 100
水本龍二　等編	肝・胆道・膵の手術	医学書院	1988	WI 770
（泌尿生植器系）				
町田喜久雄　河辺香月　編	泌尿器科画像診断	金原出版	1986	WJ 17
真下節夫　編著	ＥＳＷＬによる尿路結石治療の実際	南江堂	1988	WJ 166
（内分泌系）				
石田常博　黒住昌史　共著	臨床電顕アトラス	篠原出版	1990	WK 17
垂井清一郎　葛谷　健　共編	糖尿病学	朝倉書店	1990	WK 810
Benson,W. E.　等著	糖尿病と眼合併症	医学書院	1990	WK 835
（神経系）				
小川紀雄　編著	新　脳のレセプター	世界保健通信社	1989	WL 102
大友英一　編	新編・脳代謝賦活剤	医薬ジャーナル社	1987	WL 300
沓沢尚之　編	脳卒中　－最新の臨床－	医歯薬出版	1989	WL 355

中村三郎　編	脳腫瘍の超微構造	新興医学出版社	1989	WL 358
山室誠　著	図説　痛みの治療入門	中外医学社	1988	WL 704

（精神医学）

日本精神衛生会　編	精神医療制度改革のための研究	日本精神衛生会	1990	WM 1
懸田克躬　等編	現代精神医学大系　年刊版'89－A	中山書店	1990	WM 5
日本精神衛生会　編	アメリカにおける精神障害者のコミュニティケア	日本精神衛生会	1990	WM 9
西丸四方　著	精神医学入門　第22版	南山堂	1989	WM 100
R. L. スピッツァー　等編	DSM－Ⅲによる精神病理学ケースブック	金剛出版	1987	WM 100
大熊輝雄　著	現代臨床精神医学　改訂第4版	金原出版	1990	WM 100
馬場房子　編	働く女性のメンタルヘルス	同朋舎出版	1989	WM 105
S. アリエティ J. ベムボード　著	うつ病の心理	誠信書房	1989	WM 171
斉藤　学　等編	アルコール依存症の最新治療	金剛出版	1989	WM 274

（放射線学）

河村日佐男　大桃洋一郎　共編	線量評価に係わる人体特性及びその関連因子	放射線医学総合研究所	1990	WN 9
日本アイソトープ協会　編	アイソトープ法令集　1989年版	アイソトープ協会	1989	WN 32
原子力安善技術センター　編	最新放射線障害防止法令集－平成元年－	第一法規出版	1989	WN 32
高橋睦正　編	MRI最近の進歩	南江堂	1988	WN150
Manson-Hing, L. R. 著	パントモ撮影法　原著第2版	医学書院	1984	WN 230
日本アイソトープ協会　編	ラジオアイソトープ	丸善	1989	WN 415
森　五彦　等著	ラジオアイソトープの実習と演習	南江堂	1986	WN 420
Partain, C. L. 等著	NMR映像	HBJ出版局	1985	WN 445
辻本　忠　草間朋子　共著	放射線防護の基礎	日刊工業新聞社	1989	WN 650

（外科学・麻酔学）

久保木芳徳　等著	硬組織再建の原理	北海道大学歯学部口腔生化学講座		WO 176
小栗顕二　二岡祥子　共著	ナースのための麻酔	金芳堂	1989	WO 200
藤森　貢　編	局所麻酔の基礎と臨床	真興交易	1986	WO 300
大塚敏文　著	外傷	日本医事新報社出版局	1983	WO 700

（婦人科学）

宮地　徹　等著	改訂産婦人科病理学診断図譜　第2版	杏林書院	1987	WP 17
筒井末春　編	主婦症候群	同朋舎出版	1988	WP 100
郷久鉞二　編	マタニティー・ブルー	同朋舎出版	1989	WP 100
荒井　清　等著	婦人科学　改訂第2版	南江堂	1989	WP 100
森　崇英　等著	膣式子宮根治手術	南江堂	1990	WP 454

（産婦人科学）

玉舎輝彦　著	産婦人科手術の基本と応用	金芳堂	1989	WQ 17
荒井　清　等著	産科学　改訂第２版	南江堂	1989	WQ 100
加藤宏一　等監修	産科婦人科学	へるす出版	1989	WQ 100
Chervenak, F. A.　等著	胎児超音波診断	メディカ出版	1990	WQ 210
島田信宏　著	写真でみる分娩後２時間の母児ケア	南山堂	1988	WQ 300

（皮膚科学）

麻生和雄　著	カラーでみる皮膚疾患	金原出版	1988	WR 17
長島正治　大城戸宗男　共編	皮膚科　Ｑ＆Ａ　2	金原出版	1985	WR 100
川崎富作　等編	川崎病	南江堂	1988	WR 200
大城戸宗男　編	皮膚科治療ハンドブック	南山堂	1989	WR 650

（小児科学）

島田照三　黒川新二　共編	母性喪失	同朋舎出版	1988	WS 105
中山健太郎　等編	小児の診察診断学	医学書院	1986	WS 141
大城戸宗男　編	外来の小児皮膚科学	南山堂	1989	WS 260
成瀬　浩　松田一郎　共編	新生児マススクリーニングハンドブック	南江堂	1989	WS 420
Remington, J. S. Klein, J. O. 共著	新生児感染症	ＨＢＪ出版局	1987	WS 420

（老年医学）

小澤利男　等編	日常診療のための老年医学	萬有製薬	1985	WT 100

（歯科学・口腔外科学）

森岡俊夫　編著	レーザー歯学	医歯薬出版	1986	WU 26
清水正嗣　小浜源郁　共編	口腔癌　－診断と治療－	デンタルダイヤモンド社	1989	WU 280
Proffit, Willam R.　著	プロフィトの現代歯科矯正学	クインテッセンス出版	1989	WU 400
Alexander, R. G.　著	ＶＳＤ矯正臨床	医歯薬出版	1989	WU 400
Starshak, T. J. Sanders, B.　共著	補綴のための口腔外科	書体	1988	WU 500
Henderson, D. Steffel, V. L.　共著	マクラッケン　パーシャルデンチャー	医歯薬出版	1983	WU 515
Hickey, J. C.　等著	バウチャー　無歯顎患者の補綴治療　第2版	医歯薬出版	1988	WU 530
深谷昌彦　等著	口腔外科診断学	書体	1989	WU 600

（耳鼻咽喉科学）

Hawke, M. Jahn, A. F.　共著	臨床耳科学カラーアトラス	西村書店	1990	WV 17
切替一郎　野村恭也　共編著	新耳鼻咽喉科学　第８版	南山堂	1989	WU 100
野村恭也　飯沼壽孝　共編	耳鼻咽喉科治療ハンドブック	南山堂	1987	WU 100
本多芳男　等編	図説耳鼻咽喉科・頭頸部外科手術書	メジカルビュー社	1986	WU 168

（眼科学）

Spalton, D. J. 等編著	臨床眼科学カラーアトラス	西村書店	1989	WW 17
水野勝義　植村恭夫　共編	診療眼科学　第１－２巻	金原出版	1986	WW 100
ナウマン，アップル　共著	眼病理学	シュプリンガーファラーク東京	1989	WW 100
小林フミ子　著	内科診療のための眼底のみかた考え方	南江堂	1988	WW 270
所　　敬　著	屈折異常とその矯正	金原出版	1989	WW 300

（病院その他の保健医療施設）

上林三郎　著	病院施設ハンドブック	日本プランニングセンター	1989	WX 100

（看護学）

坪井良子　編	近代日本看護名著集成　第1巻-第9巻（第1期）	大空社	1988-89	WY 5
正津　晃　等監修	図説臨床看護シリーズ　第１－12巻	学習研究社	1989	WY 5
磯岩壽満子　等編著	看護過程に沿った対症看護	学習研究社	1989	WY 100
山口瑞穂子　吉岡征子　共監修	新・ベッドサイドの看護過程　1－3	学習研究社	1989-90	WY 100
山根信子　等監修	生活技術としてのナーシング・スキルを考える	学習研究社	1987	WY 150
大城戸宗男　田辺晃久　共編	外来患者の指導	南山堂	1989	WY 150
氏家幸子　等編	老人ケアハンドブック	メヂカルフレンド社	1989	WY 152
形浦昭克　等編	ターミナルケアと今後の医療	南山堂	1988	WY 152
井上武夫　等編著	症例から学ぶターミナルケア	聖マリアンナ医科大学ターミナルケア研究会		WY 152
上田一雄　松岡　緑　共編	循環器疾患者の看護	廣川書店	1989	WY 152.5
水口公信　編	癌疼痛の臨床	克誠堂出版	1988	WY 156
佐藤登美　静岡県立こども病院看護科　共編著	こどもの看護	へるす出版	1989	WY 159

（医学史）

産業医科大学　編	産業医科大学開学十周年記念誌　－1988－	産業医科大学	1990	WZ 23
岩手医科大学　編	岩手医科大学六十年史	岩手医科大学	1989	WZ 23
東京医科大学　編	東京医科大学七十年史	東京医科大学	1989	WZ 23
	四〇会九州大学医学部卒業25年記念	四〇会	1990	WZ 23
	研究業績集　－1988年4月～1989年3月－	琉球大医学部地域医療研究		WZ 23
愛知学院大歯学部解剖学1教室　編	酒井琢郎教授定年退職記念誌	愛知学院大歯学部	1990	WZ 100

（参考図書）

竹内　啓　等編	統計学事典	東洋経済新報社	1989	R
三田宗介　等編	社会学事典	弘文堂	1988	R
青木　一　等編	現代教育学事典	労働旬報社	1988	R
新村　出　編	広辞苑　第３版	岩波書店	1990	R 101
松村　明　編	大辞林	三省堂	1989	R 101

藤堂明保　編	学研漢和大字典	学習研究社	1990	R 102
愛知大学中日大辞典編纂所　編集	中日大辞典　増訂第２版	大修館書店	1988	R 102
岩崎民平　監修	現代英和辞典　－携帯版－	研究社	1988	R 103
国松孝二等編	独和大辞典　－コンパクト版－	小学校	1990	R 104
山田常雄　等編	岩波生物学辞典　第３版	岩波書店	1989	R 201
日本歯科大学　編	新常用歯科辞典　第２版	医歯薬出版	1989	R 201
関根　弘　等編	歯科医学大辞典　－縮刷版－	医歯薬出版	1989	R 201
早わかり薬品辞典編集委員会　編	早わかり薬品辞典　第２版	メヂカルフレンド社	1989	R 201
宇井信生　等編	生化学辞典	東京化学同人	1989	R 201
大木道則　等編	化学大辞典	東京化学同人	1989	R 201
後藤　稠　等編	最新医学大辞典	医歯薬出版	1988	R 201
	看護学大辞典　第３版	メヂカルフレンド社	1989	R 201
	南山堂　医学大辞典　－豪華版－	南山堂	1990	R 201
織田敏次　等編	免疫学用語辞典　第２版	最新医学社	1990	R 201
開原成允　等編	和英医学用語大辞典　〔第１－３巻〕	日外アソシエーツ	1990	R 201
大島正光　等編	英和医学用語大辞典　〔第１－３巻〕	日外アソシエーツ	1989	R 201
木島正夫　等編	廣川　薬用植物大辞典　修正版	廣川書店	1987	R 201
日本薬学会薬学用語委員会　編	薬学用語辞典　第９版	廣川書店	1986	R 201
薬科学大辞典編集委員会　編	廣川　薬科学大辞典	廣川書店	1986	R 201
講談社　編	医科学大辞典　Suppl. 7	講談社	1990	R 201
ミクス編集部　編	漢字医学用語	ミクス	1990	R 201
人事興信所　編	人事興信録　上・下　第34版	人事興信所	1989	R 301
日本学術振興会　編	大学研究所要覧　1990年版	日本学術振興会	1990	R 451
出版年鑑編集部　編	出版年鑑　1990　第１－２巻	出版ニュース社	1990	R 601
日外アソシエーツ　編	新収洋書総合目録　1984－1987　Pt. 12-13	紀伊國屋書店	1990	R 710
日本医学図書館協会　編	医学雑誌総合目録　－国内雑誌編－　第７版	日本医学図書館協会	1990	R 710

（図書館学）

Dowlin, Kenneth E.　著	エレクトロニック　ライブラリー	丸善	1987	Z
Lambert, jill　著	電子時代の学術雑誌	日本図書館協会	1989	Z
Lancaster, F. Wilfrid　著	紙からエレクトロニクスへ　－図書館－	日外アソシエーツ	1988	Z

平成２年度医学図書館の主な行事（前期）

４．	４	新入生オリエンテーション（30名）
	11	新入生総合ガイダンス（120名）
	25	情報処理及び情報検索講習会（一外科）
	27	医学図書館資料の使い方講習会（図書系職員及びラボランチン）
５．	７	分館長会議及び図書館商議委員会
	11	ＪＩＣＡ研究者オリエンテーション（10名）
		開学記念日　貴重図書出展
		第１回日本医学図書館協会福岡地区会議（九州大学）
	17-18	第61回日本医学図書館総会（愛知学院大学歯学部）
	23	情報処理及び情報検索講習会（院生）
６．	11	第63回（平成４年度）日本医学図書館協会総会打合せ（九州大学）
	15	第２回日本医学図書館協会福岡地区会議（九州大学）
	28	医薬学ＪＯＩＳ特別研修会（ＪＩＣＳＴ）
７．	６	全学図書系掛長会議
	9-10	ＣＤ－ＲＯＭ（Excerpta Medica, Corrent Contents）説明会
	12	第63回（平成４年度）日本医学図書館協会総会打合せ（九州大学）
	13	第３回日本医学図書館協会福岡地区会議・平成３年度日本医学図書館協会セミナー事務局会議（久留米大学）
	19-20	第２回日本医学図書館協会九州地区セミナー（長崎大学）
	23	釜山大学研修生来館（10名）
８．	2-3	平成２年度日本医学図書館協会セミナー（金沢大学）
	22-23	第25回（平成２年度）日本医学図書館協会研究集会（京都大学）
	31	第４回日本医学図書館協会福岡地区会議・平成３年度日本医学図書館協会セミナー事務局会議（久留米大学）

お知らせ（ご案内）

Current Contents on Diskette（1989. 9. 18〜最新版まで）の検索及びExcerpta Medica（1988－1989年版）ＣＤ－ＲＯＭのパソコンによる検索を希望される方はお申し出ください。

（参考調査掛）

パソコンの増設についてお知らせ

最近、パソコンの利用増加に伴い機器（機種：ＮＥＣ／ＰＣ－9801）が不足して皆様に不便をお掛けいたしておりましたが、このたび個室に１台（計３台）増設しましたのでご利用ください。

（閲覧掛）

発　行　九州大学附属図書館医学分館
住　所　福岡市東区馬出３丁目１－１　（〒 812）
☎ 代表（092）641－1151　内線 3202

発行人　梅　津　　彰
編集人　朝　倉　　一